

科学技術社会論学会 第24回年次研究大会 発表採択一覧 2025年9月15日

A. 一般講演

受付番号	登録者名	登録者所属先名等	発表タイトル
PR0001	加藤 直子	桜美林大学 グローバルコミュニケーション学群 准教授	新たな感染症に関する情報と行動変容の関連の統計的解明
PR0002	小川 眞里子	三重大学・名誉教授	1881年のロンドン国際医学大会はいかに実施されたか
PR0003	田中 隆文	名古屋大学減災連携研究センター・客員教授	ケアの倫理のアナロジーによる、科学とローカルノレッジの対置関係の整理
PR0004	千葉 庫三	東京科学大学	日本学会会議における大型計画策定の変遷―「マスタープラン」から「未来の学術振興構想」へ
PR0005	立花 浩司	千葉エコ・エネルギー株式会社	「作動中の科学」としての営農型太陽光発電：社会実装に必要な要素はなにか
PR0006	小松 久美子	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	AI推進度に対する国民文化の影響：国際比較研究
PR0007	陳 成	東京科学大学	多義的な「不確実性」と政策判断——気仙沼市におけるポスト3.11復興と津波シミュレーション
PR0009	小野田 敬	東京科学大学	基礎と応用を統合するバスツール型研究の認識的文化—ゲノム科学における認識的文化とリサーチデザインの接合—
PR0010	小林 俊哉	九州大学	STSステートメントによる科学コミュニケーション教育の長期的効果—九州大学大学院における事例
PR0013	田中 丹史	東京大学	科学技術コミュニケーションと倫理：アカウンタビリティ、脆弱性、系統的知識
PR0014	久保田 祐貴	NTTコミュニケーション科学基礎研究所	関係的・ケア的な人間観からみる科学コミュニケーション—萌芽的技術を扱う実践を例に—
PR0015	秋間 建人	一橋大学イノベーション研究センター	AI倫理は応用倫理学たりうるか？-規範倫理の観点から先行研究を再検討する-
PR0016	野村 祐子	独立研究者	科学コミュニケーションの機能不全と中等理科教育の関連性に関する一考察
PR0017	前田 春香	京都大学特定研究員	人間へのセクハラとロボットへのセクハラへの感じ方はどう違うのか
PR0018	猪鼻 真裕	総合研究大学院大学	原子力発電所の廃炉政策の二元制：特異領域としての福島県
PR0019	有賀 雅奈	桜美林大学リベラルアーツ学群・准教授	科学技術コミュニケーションに批判的に関与する「市民」の育成：桜美林大学のプログラム教育の取り組み
PR0026	牟田 由喜子	東京科学大学	在来タンポポの雑種化をめぐる市民の認識と自然観 — 生物多様性理解における科学知と市民知の交錯 —
PR0036	上村 大地	国立成育医療研究センター	倫理審査委員会における形式主義化の予防と事務局機能の役割
PR0037	柴田 尚希	慶應義塾大学 政策・メディア研究科	ハードテック技術者の価値観形成過程の分析
PR0038	佐藤 桃子	国立研究開発法人理化学研究所	日本における消費者直販型の遺伝祖先検査の特徴と宣伝
PR0039	竹村 昌江	無所属	SF思考によるネガティブ・ケイパビリティ・レディネス生成の可能性：外来種問題を題材とした市民WSを通して
PR0040	宮部 裕貴	東京大学大学院	研究者は学際という語をどのように用いているのか？-期待の社会学への定量的アプローチ-
PR0041	見上 公一	慶應義塾大学	「バイオものづくり」への期待を読み解く
PR0046	標葉 隆馬	慶應義塾大学	エビジェネティクス・バイオマーカー利用をめぐるELSI
PR0051	柴田 清	なし	非専門家に向けた技術に関するリテラシー ---増子晟の工科教養をヒントとして---
PR0052	花岡 龍毅	常磐大学	生命科学/バイオテクノロジーと現代資本主義の「段階」—宇野理論の応用研究—
PR0053	吉田 省子	北海道大学大学院	寿都町を取り巻く二つの問い：対話の暴力性の自覚と無知の利活用 ---寿都町シリーズシンポジウム（全3回/2024年11月-2025年6月11日）から浮かび上がること---
PR0054	渡邊 康宏	東京科学大学博士課程	1980年代米国における知の軍事化とNSDD-189の成立過程
PR0055	石川 肇	特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会	SFプロトタイピングを用いた未来の食についての市民対話の実践
PR0056	趙 允彬	東京大学大学院	AIの環境負荷は「不正義」の問題である—日韓市民調査からの示唆
PR0057	大庭 弘継	立教大学大学院人工知能科学研究科・特任教授	未知の技術に市民はどう答えたか？：新興デュアルユース技術に関する社会調査（2025年8月実施）を読み解く
PR0058	加藤 穂香	国際基督教大学	「信頼できる食品」をめぐる市民の語りと対抗的イマジナリー：ゲノム編集食品の事例から
PR0059	李 中恵	東京大学大学院	科学的体験は本当に女子高校生をSTEMへと導くのか
PR0060	傅 夢媛	早稲田大学	AI検索と誤情報：気候変動情報におけるハルシネーション脆弱性
PR0065	楊 澍	大阪大学人文学研究科	ゲノム編集技術をめぐる国家ガバナンス

PR0066	秋葉 豊	名古屋大学大学院情報学研究所	自律的なAIシステムのMeaningful Human Controlと道徳的想像力
PR0067	成田 吉希	八千代エンジニアリング シニアコンサルタント	太平洋島嶼国でのデジタル分野における主権概念の整理と課題の考察
PR0068	加藤木 ひとみ	国立環境研究所 社会対話・協働推進オフィス	サイエンスコミュニケーションの規範的介入性をめぐる試論ー「べき論」の切り分けに基づく再考ー
PR0069	志田 あやか	理化学研究所	プレスリリースに対する研究者の意識調査
PR0070	塚原 修一	関西国際大学・客員教授	世界的競争力をめざす連携による地域大学振興ー韓国のグローバル大学30政策ー
PR0071	吉野 太郎	関西学院大学	科学者運動の現在ー反戦運動と科学者の社会的責任
PR0072	林 克己	大阪大学人間科学研究科	晩年ブリュノ・ラトゥールにおける「テレストリアル科学」
PR0073	深貝 保則	横浜国立大学	創作・改変の科学・技術の射程と拡張型としての「科学(者)の社会的責任」:アルテミス、アントロボセン、そしてその先に……
PR0074	澤崎 賢一	総合地球環境学研究所	映像を方法とする知の共創:〈メタ映画〉と〈コモンズ映画〉の理論的考察
PR0075	三上 直之	名古屋大学	ゲノム編集技術の野生生物への適用範囲に関する人びとの意見とその理由ーフォーカスグループにおける熟議を通じてー
PR0076	川本 思心	北海道大学	伝書鳩がつなぐ軍学民のネットワーク:1920~40年代遺伝学と社会
PR0077	立川 雅司	名古屋大学・教授	ゲノム編集技術の野生生物への応用をめぐる諸課題
PR0078	青木 千帆子	筑波技術大学	アシスティブテクノロジーの開発と科学コミュニケーションーAT専門家へのインタビュー調査から
PR0082	菊地 乃依瑠	政策研究大学院大学	政策タイプによる知識利用傾向の違いについてーセンター・オブ・イノベーションプログラム、橋渡し研究プログラム、脳科学研究戦略推進プログラムの比較からー
PR0083	大澤 康太郎	名古屋大学大学院 環境学研究所	目的に応じたファシリテーション省察の実践方法と意義:グループディスカッション型意見調査を事例に
PR0084	福本 江利子	東京大学・講師	日本におけるRRI振興へのメタ的視点:ELSIセンターについての試論を中心に
PR0085	佐藤 恭子	Stanford University	核・原子力研究におけるSTSの射程:課題と展望
PR0086	東島 仁	千葉大学大学院	オーサーシップに関する認識・規範は研究分野によってどう異なるのか/共通しているのか:国内動向を中心に
PR0087	中村 征樹	大阪大学	二重投稿に関する認識・規範は研究分野によってどう異なるのか/共通しているのか:国内動向を中心に
PR0088	新 宸	大阪大学人文学研究科	チベット医学の近代化における協働的秩序の形成ーアクターネットワーク理論の視点から
PR0089	菅原 裕輝	大阪大学大学院人文学研究科・講師	気候変動とデジタルSTS
PR0090	菅原 慎悦	関西大学社会安全学部	事後的意味付けとしての事故調査:福島第一IC作動音証言をめぐる一考察
PR0092	SON Joonwoo	九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター	数字と主観性ー1950年代日本の公的統計における「信頼」の獲得をめぐる論争史
PR0093	中山 敬太	早稲田大学社会科学総合学術院	不確実性を伴う先端科学技術リスクをめぐる法的予防措置の「標準化」の意義と可能性ーAIのリスクと不確実性の観点からー
PR0094	寿楽 浩太	東京電機大学	「政治主導」時代の原子力政策と「制度化された非知」:高レベル放射性廃棄物政策の事例
PR0095	村瀬 泰菜	東京大学大学院	チェコの産科医療と女性身体を生・資本化
PR0096	水島 希	広島県公立大学法人 叡啓大学	ノンスケラビリティ理論から見る「市民科学」の可能性
PR0097	藤田 康元	みんなのデータサイト・大学非常勤講師	3.11以後の市民放射能測定活動
PR0098	八巻 俊憲	原子力市民委員会福島原発事故部会	福島原発事故と市民性ー拡大する「原子力公害」ー
PR0099	定松 淳	東京大学教養学部附属教養教育高度化機構・特任准教授	原発政策批判における「決定の連鎖」論の導入
PR0100	宇都宮 俊星	藤沢翔陵高等学校	社会的課題を基盤とした教育プログラムの開発・実践ー教育現場で扱う合意形成の意義と諸課題の整理ー
PR0101	高橋 さきの	翻訳者・お茶の水女子大学非常勤講師	科学技術史としての文章史:辞書とジェンダー
PR0102	梅沢 泰成	大阪大学大学院	市民社会セクターによる再生可能エネルギー導入状況の分析
PR0103	渡部 麻衣子	お茶の水女子大学・特任准教授	イノベーションにおける「技術のジェンダー構造変革論」の一事例としてのISO53800の考察
PR0104	平井 俊男	大阪府立長尾高等学校・会計年度任用職員	福島原発震災に関するSTEAM教育教材の開発 II:生徒の気づき
PR0105	木村 匠	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社	偽情報は「サイバーセキュリティの脅威」か?ーサイバーセキュリティをめぐるバウンダリーワークー
PR0106	浅野 希梨	総合研究大学院大学	東日本大震災後の「弱き声」をめぐる言説ー「震災演劇」にみる若者の声とメディア報道の比較分析ー

PR0107	カテライ アメリア	筑波大学	職場におけるAI監視技術のELSI論点
PR0108	一方井 祐子	金沢大学	研究者主導型シチズンサイエンスにおける「貢献感」と「達成感」の分析 —雷雲プロジェクトの事例から—
PR0109	徐 旭	東北大学	現代二元論を超えて——テクノ神学・アニミズム・神性倫理の再構築
PR0110	城下 英行	関西大学	台湾防災教育輔導団による防災教育推進活動

B. オーガナイズドセッション

受付番号	登録者名	登録者所属先名	セッションタイトル
GR0001	本堂 毅	東北大学大学院	専門的助言2：越境的協働
GR0002	田中 麻莉子	株式会社日本農業	専門的助言1：その倫理と法
GR0003	多久和 理実	東京科学大学	旧制大学の工学部で聴講生・専攻生・外国学生として学んだ女性たち：奈良女子高等師範学校出身者を中心に
GR0004	直江 清隆	東北大学	科学技術イノベーションと公共的責任 — 技術哲学・倫理から考える廃棄物・観光・共創（2）
GR0005	栃内 文彦	芝浦工業大学	科学技術イノベーションと公共的責任 — 技術哲学・倫理から考える廃棄物・観光・共創（1）
GR0006	標葉 隆馬	慶應義塾大学	ムーンショットELSI
GR0007	八木 絵香	大阪大学	気候市民会議の多様な開催を考える—2025
GR0008	野内 玲	広島大学	集合知の源泉としてのメタサイエンス
GR0009	森下 翔	山梨県立大学	「量子の未来」をめぐる言説と実践：社会技術的想像力・ハイブ・未来デザイン